



2024年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4829 URL <https://www.nihon-e.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	2,202	4.5	118	20.1	131	22.9	94	76.2
2023年5月期第2四半期	2,108	4.5	99	14.0	106	20.9	53	23.7

（注）包括利益 2024年5月期第2四半期 98百万円（53.6%） 2023年5月期第2四半期 64百万円（19.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	2.45	—
2023年5月期第2四半期	1.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第2四半期	5,777	4,941	83.1	124.52
2023年5月期	5,717	4,926	83.7	124.18

（参考）自己資本 2024年5月期第2四半期 4,798百万円 2023年5月期 4,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2024年5月期	—	0.00	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	6.9	210	16.4	220	15.7	110	6.6	2.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期2Q	38,534,900株	2023年5月期	38,534,900株
② 期末自己株式数	2024年5月期2Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期2Q	38,534,900株	2023年5月期2Q	38,534,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料の入手方法

決算説明資料及び説明動画は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行で行動制限が緩和される中、経済活動の正常化促進やインバウンド需要の回復等により、企業収益や個人消費行動に持ち直しが見られました。一方でロシアによるウクライナ侵攻等による原材料・エネルギー価格の高止まりや物価上昇による消費マインドの低下が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社グループに関連するITサービス業界を取り巻く環境は、高度なデジタル化・ネットワーク化によるモバイルコンテンツ関連市場の成長、サステナビリティの重要性を追い風としたDX（注1）推進に伴う企業の活発なIT投資等により堅調に拡大しております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、クリエイション事業（コンテンツサービス、ビジネスサポートサービス等）及びソリューション事業（システム開発サービス、業務支援サービス、その他サービス）を推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアの定額制コンテンツが増進したものの、月額コンテンツ及びアプリストアのコンテンツの減少を補えず減収となりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、交通情報は伸長いたしました。また、キッキング支援、EC・ASPサービス等の減少に伴い、減収いたしました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は7億98百万円（前年同四半期比4.1%減）、セグメント利益は2億28百万円（同21.1%増）となりました。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発サービス」においては、サステナビリティの重要性を追い風としたDXの推進に伴い、AIやIoT（注2）等、様々な技術を組み合わせたシステム開発の需要が増大する中、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、アプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポート、販売促進等クリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発を推し進めた他、ラボ型開発（注3）が大きく増進いたしました。

人手不足問題にマッチした「業務支援サービス」においては、大手通信キャリアを中心に積極的な営業を推し進めたものの、顧客のニーズにマッチした人材提供に時間を要し減収となりました。

また、「その他サービス」は、第1四半期連結累計期間におけるAI画像解析関連機器の納入等に伴い、大幅に伸長いたしました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は14億4百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント利益は1億58百万円（同15.5%減）となりました。

<連結決算の概況>

当第2四半期連結累計期間における売上高は22億2百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は1億18百万円（同20.1%増）、経常利益は1億31百万円（同22.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（同76.2%増）となりました。

売上高については、「ビジネスサポートサービス」「コンテンツサービス」が減少したものの、「システム開発サービス」「その他サービス」が増勢に推移したことにより、増収いたしました。

営業利益については、売上高の増収の他、広告宣伝費や人件費等販売費及び一般管理費の減少に伴い増益いたしました。

経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業利益の増加の他、受取配当金等による営業外収益の増加、投資有価証券売却益による特別利益の増加により、増益いたしました。

（注1）「Digital Transformation」の略

「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。

（注2）「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識等を行う仕組みを意味する。

（注3）専任のITエンジニアチームによる開発支援形態

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円増加し、57億77百万円となりました。流動資産は、主に売掛金及び契約資産の増加、電子記録債権の増加及び現金及び預金の減少により前連結会計年度末と比較して62百万円減少し、50億31百万円となりました。固定資産においては、主に無形固定資産及び投資有価証券の増加により前連結会計年度末と比較して1億21百万円増加し、7億45百万円となりました。

負債につきましては、主に買掛金の増加、未払法人税等の増加及び賞与引当金の増加により前連結会計年度末と比較して44百万円増加し、8億35百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末と比較して15百万円増加し、49億41百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益1億47百万円(前年同四半期比37.9%増)、減価償却費51百万円(同10.1%減)及び仕入債務の増加額16百万円(同60.2%減)等による資金の増加が、売上債権の増加額32百万円(同71.7%減)及び法人税等の支払額22百万円(同6.5%減)等の資金の減少を上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1億54百万円の資金の増加(同69.4%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

クリエイション事業に係るソフトウェア開発を中心に無形固定資産の取得による支出43百万円(同44.6%増)、子会社の設立による支出14百万円、投資有価証券の取得による支出2億91百万円等による資金の減少が、投資有価証券の売却による収入2億8百万円等の資金の増加を上回ったことにより、当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは1億52百万円の資金の減少(同402.1%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

株主の皆様への利益還元といたしまして配当に76百万円(同0.1%減)を支出したことに加え、長期借入金の返済による支出11百万円等により、当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは95百万円の資金の減少(同1.7%減)となりました。

上記のとおり、当第2四半期連結累計期間は営業活動で増加した資金を効果的な設備投資及び株主の皆様への利益還元として配当に充当いたしました。当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末比93百万円減少し、42億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、2023年7月14日公表の連結業績予想値に変更はありません。

引き続き、クリエイション事業(コンテンツサービスの拡充・創出、キッキング支援の新たなビジネスモデル展開)、ソリューション事業(社会のDX推進に対応したシステム開発サービスや業務支援サービスの伸長)に注力することで、増収増益を目論んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,335,472	4,242,671
売掛金及び契約資産	667,605	672,823
電子記録債権	—	27,060
商品	12,654	11,870
仕掛品	13,596	7,958
貯蔵品	290	254
未収入金	10,963	12,579
その他	53,531	56,829
貸倒引当金	△262	△262
流動資産合計	5,093,852	5,031,785
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,542	32,180
機械及び装置（純額）	237,400	225,591
土地	12,400	12,400
その他（純額）	8,275	11,740
有形固定資産合計	283,617	281,912
無形固定資産		
ソフトウェア	172,564	177,926
その他	7,049	6,646
無形固定資産合計	179,614	184,572
投資その他の資産		
投資有価証券	52,196	162,142
差入保証金	78,963	79,236
繰延税金資産	27,626	35,775
その他	2,120	2,120
投資その他の資産合計	160,906	279,274
固定資産合計	624,138	745,759
資産合計	5,717,990	5,777,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,130	184,486
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	37,260	55,277
未払消費税等	52,486	60,471
契約負債	35,780	35,190
賞与引当金	—	15,948
役員賞与引当金	—	2,754
その他	251,547	238,098
流動負債合計	568,701	615,723
固定負債		
長期借入金	159,907	148,159
退職給付に係る負債	50,504	54,451
その他	12,284	17,513
固定負債合計	222,696	220,123
負債合計	791,398	835,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,338	1,108,338
資本剰余金	984,894	984,894
利益剰余金	2,692,070	2,709,463
株主資本合計	4,785,303	4,802,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△4,289
その他の包括利益累計額合計	—	△4,289
新株予約権	1,471	1,850
非支配株主持分	139,818	141,440
純資産合計	4,926,592	4,941,698
負債純資産合計	5,717,990	5,777,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	2,108,655	2,202,841
売上原価	1,236,916	1,350,303
売上総利益	871,738	852,538
販売費及び一般管理費	772,690	733,606
営業利益	99,048	118,931
営業外収益		
受取利息	58	30
受取配当金	—	5,640
補助金収入	4,633	6,024
受取賃貸料	666	666
受取手数料	2,725	—
業務受託手数料	300	480
為替差益	9	151
その他	647	465
営業外収益合計	9,039	13,457
営業外費用		
支払利息	1,139	1,003
支払手数料	213	213
その他	16	15
営業外費用合計	1,369	1,232
経常利益	106,718	131,156
特別利益		
投資有価証券売却益	—	16,257
特別利益合計	—	16,257
特別損失		
固定資産除却損	—	273
特別損失合計	—	273
税金等調整前四半期純利益	106,718	147,141
法人税、住民税及び事業税	48,288	52,437
法人税等調整額	△5,740	△8,149
法人税等合計	42,548	44,288
四半期純利益	64,170	102,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,551	8,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,619	94,462

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	64,170	102,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△4,289
その他の包括利益合計	—	△4,289
四半期包括利益	64,170	98,563
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,619	90,173
非支配株主に係る四半期包括利益	10,551	8,389

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	106,718	147,141
減価償却費	56,906	51,142
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△513	—
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,040	2,754
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,233	3,947
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,116	—
受取利息及び受取配当金	△58	△5,670
支払利息	1,139	1,003
為替差損益 (△は益)	△9	△151
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△16,257
固定資産除却損	—	273
売上債権の増減額 (△は増加)	△113,968	△32,277
棚卸資産の増減額 (△は増加)	6,628	6,458
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,095	16,355
未払又は未収消費税等の増減額	7,177	8,782
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△3,555	△16,574
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,666	△11,331
その他	7,074	17,153
小計	116,693	172,748
利息及び配当金の受取額	58	5,670
利息の支払額	△1,139	△1,003
法人税等の支払額	△24,238	△22,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,373	154,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,490	△25,790
定期預金の払戻による収入	20,690	25,490
有形固定資産の取得による支出	△204	△8,328
無形固定資産の取得による支出	△30,361	△43,908
投資有価証券の取得による支出	—	△291,496
投資有価証券の売却による収入	—	208,500
子会社の設立による支出	—	△14,980
貸付けによる支出	△2,800	△700
貸付金の回収による収入	3,366	56
差入保証金の差入による支出	—	△1,500
差入保証金の回収による収入	4,411	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,388	△152,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△11,748	△11,748
リース債務の返済による支出	△312	△429
配当金の支払額	△76,570	△76,489
非支配株主への配当金の支払額	△8,464	△6,767
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,094	△95,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36,100	△93,100
現金及び現金同等物の期首残高	4,188,074	4,299,982
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,151,973	4,206,881

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	832,740	1,275,914	2,108,655	—	2,108,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	6,806	6,866	△6,866	—
計	832,800	1,282,721	2,115,521	△6,866	2,108,655
セグメント利益	188,550	187,371	375,921	△276,873	99,048

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△276,873千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	798,538	1,404,303	2,202,841	—	2,202,841
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60	4,618	4,678	△4,678	—
計	798,598	1,408,922	2,207,520	△4,678	2,202,841
セグメント利益	228,344	158,239	386,583	△267,652	118,931

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△267,652千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。